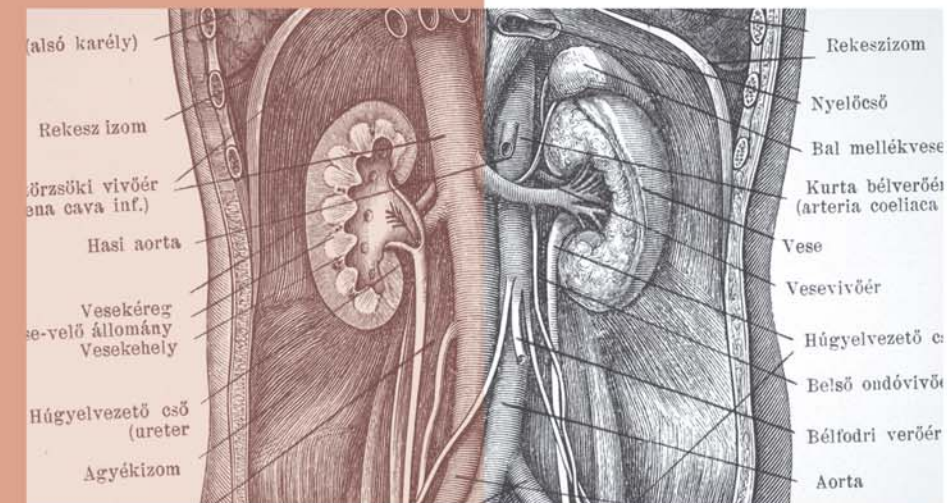


QUARTERLY REPORT

vol.54
Mar.2019

MANAGING OFFICE
2-5-1, SHIKATA-CHO, KITA-KU
OKAYAMA 700-8558 JAPAN
PHONE:086-235-7023 FAX:086-235-7552
<http://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/>



退任のご挨拶

岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 教授
松岡 順治



この度、本年3月末日をもちまして岡山大学を退職させていただくことになりました。これに伴いまして長年お世話になりました中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの事務局長を退任させていただきたく一言ご挨拶申し上げます。

中四がんプロは本年で13年目を迎えます。当初は8大学の大学院で連携していましたが現在では11大学の大学院が連携し、多くの専門職を輩出し大変意義のあるプロジェクトになっています。現在まで約15億円の補助金の交付を受け、このようなプロジェクトに関わることができ、多くの先生方とお近づきになりご指導をうけることができたことは私にとって大変光栄であるとともに感謝いたしております。

そもそも公募があるとの情報を得たときにはすでに中国地方での枠組みがほとんどでき上がっているとの情報ももたらされ、あわてて田中紀章先生と中国・四国の大学への行脚を開始しました。幸い、徳島大学曾根三郎先生、山口大学岡正朗先生、香川大学長尾省吾先生、愛媛大学安川正貴先生、高知大学荒木京二郎先生、高知県立大学南裕子先生、川崎医科大学角田司先生のもとをお訪ねしコンソーシアムを組むという合意をなんとか形成することができました。その合意のための素案を文科省の応募要項を読み、苦しみながら短期間で書き上げたことを懐かしく思い出します。

中四がんプロコンソーシアムの専門職の養成の要諦は 1)多職種横断的教育 2)コンソーシアム横断的教育 3)FD研修 3)チーム医療 4)eラーニング であったかと思えます。コンソーシアムに主体的自主性をもって参加していただくために、各大学の得意分野を尊重しWGの主幹校としてコンソーシアム全体を統括していただく仕組みを作りました。曾根先生と岡先生にはグランドデザインの時期から大変ご指導をいただき、岡山大学の外科医局でサンドイッチを頼張りながら応募書類について議論をしたこと、教授方のほとぼしるエネルギーを眩しく思ったことを覚えています。eラーニングのコンテンツを作るために、スタートアップ企業の3eRecという機械を導入しましたが、今ではその木村情報技術株式会社もAIのトップ企業の一つに成長して様々な分野で注目されています。シラバスの作成では田端雅弘先生、応募に際しては事務の奥井伸二朗さんのお力が大きく、その頃はがんプロの関係者はみんな寝不足で顔色がわるいのもっぱらの噂でした。いくつかの落選組があった中で、無事採択が決まったときにはホッとしてみんなで祝杯をあげました。

第2期のがんプロが始まる前に全国がんプロ協議会が発足しました。がんプロの教育効果が高いことが実感され、これをなんとか続けたいという全国のがんプロ関係者の熱意の現れとなったものでした。文科省の補助金は競争資金という側面があるためお互いに採択のために争うことがもっぱらでしたが、2期を目指し皆が協力しようという機運が高まったのです。その結果として文科省補助金としては例外的に第3期まで続くことができたと考えられます。できれば同じようなプログラムが4期、5期と続いていくことを願っております。

がん患者さんのQOLを向上させるために臨床腫瘍医、緩和医療医、医学物理士、がん専門看護師などの専門職を養成することががんプロの目的でありました。私の専門とする緩和医療の分野では、がんプロ以前は専門医を育成するための講座もなく、教材も共通のものがなく、卒前カリキュラムについてもレベルはまちまちでした。がんプロを通じ緩和医療学の講座ができ、緩和医療部会で教材、カリキュラムについても検討することができ、一定の成果を上げることができたと考えています。

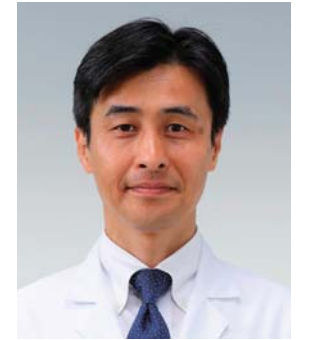
谷本光音先生ががんプロの代表をされていたときには送別会、歓迎会の連続で2次会はカラオケと決まっております。田中先生は美空ひばり、谷本先生は福山雅治、大阪大学の松浦先生はビートルズ、岡先生はバスストップ、私はアリスとほぼ毎回曲目は同じでした。最後にみんなでスクラムを組んで揺れながら「乾杯」をぐっときながら歌ったことが忘れられません。いつかまたみなさんと一緒に肩を組むことができればと思っております。

このように長きにわたり本事業に関わることができましたことは私にとって大学人として最高に充実した期間であったと感じております。この間にお世話になり支えてくださいました各大学の事務方、スタッフの方々には心より感謝申し上げます。

最後になりますが、本事業にご参加いただきました多くの皆様の今後の益々のご活躍と本事業の発展、患者さんとそのご家族の幸せを心より祈念いたしております。

就任のご挨拶

岡山大学病院 低侵襲治療センター 准教授
香川 俊輔



第2期の最終年度よりこのがんプロ事業に関わらせていただいております岡山大学の香川俊輔と申します。本事業の申請段階から、この第3期まで事務局長として尽力されてきた松岡教授から事務局長としての業務を引き継ぐこととなりました。松岡先生のような大役をこなす役回りではございませんが、業務遂行上、各連携施設の皆様にお見知りおきをいただきたく、ご挨拶をさせていただきます。

このがんプロ事業はすでに開始から12年が経ち、その間のがん診療を取り巻く事情も急速にかつ大きく変化してまいりました。ゲノム医療やロボット手術の出現等に代表される診断・治療の進歩に加え、医療者側の専門の細分化、治療を受ける側の高齢化など、事態は変貌しており、教育内容も順応しなければならぬ状況と思われれます。一方で事業に携わる多くの大学教授陣も大学を取り巻く社会情勢の変化の中、多忙を極め、年々負担も増加しているものと推察します。さらに本事業はいずれ各大学で定着させ、自立化することが求められています。

新任事務局長として、まずはそのような事情をできる限り咀嚼し、あえて事業全体を客観的に俯瞰するように心がけたいと考えております。その上で、経年変化で生じてくるような無駄を省き、歪を修正しながら、事業全体が時代に合わせて円滑に変化、発展していけるよう、皆様をお支えすることで、このがんプロ事業に貢献できればと考えております。

10年以上に渡り展開されてきた事業の全貌の把握が未だ不十分であり、後任として甚だ力不足ではございますが、微力ながら尽力してまいります。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

国際貢献

アジアからの招聘 ～ミャンマー医療人～

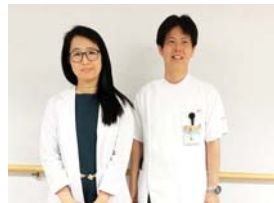
本コンソーシアムでは、「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プログラムの一環としてミャンマーから医療人を招き、研修を行っています。本年度は10月1日～10月10日にわたってヤンゴン第一医科大学より腫瘍内科医のDr. San Yee Myintを迎え、岡山大学にて7日間の研修を行いました。外科、内科、放射線科、栄養管理部等、がんチーム医療に関連した診療科の見学など、岡山大学にてがんチーム医療を学んでいただきました。

研修プログラム 平成30年10月1日～10月10日

日程	研修内容	担当者
10/1 月	顔合わせ・病院案内 造血幹細胞移植見学	がんプロメンバー 西森 久和 助教
10/2 火	看護部長面会 総合患者支援センター アルファ美容室見学 血液・移植カンファレンス	宗宮 昌子 看護部長 石橋 京子 主任 山岡 純三 代表 西森 久和 助教
10/3 水	血液・腫瘍・呼吸器内科見学 腫瘍センター見学 口腔ケア 消化管カンファレンス	遠西 大輔 助教 久保 寿夫 助教 山中 玲子 助教 前田 あずさ 助教 神崎 洋光 助教
10/4 木	放射線科外来見学 消化器、消化器がん、内視鏡について 藤原教授面会	渡邊 謙太 先生 神崎 洋光 助教 藤原 俊義 教授
10/5 金	前田教授面会	前田 嘉信 教授
10/9 火	栄養管理 岡田教授面会 豊岡教授面会 乳がんカンファレンス	長谷川 祐子 栄養士長 岡田 裕之 教授 豊岡 伸一 教授 岩本 高行 助教
10/10 水	精神科神経科病棟見学 報告会 送別会	山田 了士 教授 報告者:San Yee Myint がんプロメンバー他



研修プログラムに携わって～ミャンマー医療人研修を終えて～



研修先: 血液・腫瘍・呼吸器内科
担当者: 西森 久和 助教

研修内容:

同種造血幹細胞移植カンファレンスに参加していただき、多職種による議論の中で、各職種の意見を医師がとりまとめ、コンセンサスを得ながら治療方針を決定していくプロセスを研修していただきました。

感想:

ミャンマーにおける同種造血幹細胞移植は、まだ発展途上であると感じていましたが、移植に関する知識や治療方針について、ギャップはありませんでした。多職種によるチームカンファレンスもミャンマーでは少ないようですが、患者さん一人ひとりを丁寧に診療されており、チーム医療における分業化は効率的である一方、チーム各人が守備範囲を狭めてしまつて隙間が空いてしまわないように注意していく必要があることを、Myint先生との議論の中で再認識しました。



研修先: 消化器内科
担当者: 神崎 洋光 助教

研修内容:

消化器内科、消化器外科、病理医師による症例検討カンファレンスへの参加、上部・下部内視鏡検査、内視鏡治療ならびに胆膵疾患への内視鏡検査(超音波内視鏡、ERCP等)の見学。消化器がんに対する診断・治療ストラテジーについて日本、ミャンマーでの違いについてディスカッション。

感想:

今回来岡されましたDr. San Yee Myintは抗がん剤を中心としたがん診療に幅広い知識を持たれており、日本とミャンマーとの抗がん剤治療の使用法やがん患者の診察の仕方など多くの違いについてディスカッションすることが出来ました。本邦での免疫チェックポイント阻害薬などの新規抗がん剤の使用経験などにご興味を持たれておりましたが、その高価さは御存じであり、胃がんへの効果の低さからメリットについてどのように考えているのかディスカッションしました。ミャンマーの医師とお話するたびに日本の国民皆保険制度のメリットとデメリットについて考えさせられます。本当に必要な患者さんに本当に必要な検査・治療を行うことがどれほど難しいかを再確認させられる思いがいたしました。

ミャンマー医療人からのレポート～研修を終えて～



Consultant Medical Oncologist Medical Oncology Department
Yangon General Hospital University of Medicine 1, Yangon
Dr. San Yee Myint

First of all, I would like to thank to Mid- West Japan Cancer Educational Consortium for let me had the opportunity by offering this Cancer Professional Faculty Development Program 2018. Which was from 1st October 2018 to 10th October 2018. In collaboration with Ministry of Health and Sports, Myanmar.

On the first day, I made a greeting to Ganpro members and Hospital orientation was introduced. Although, the period was short I have learnt a lot in wide area of different aspect, which are taking part in care of cancer patients.

By attending Hematopoietic Transplantation Conference, Hemato/Onco ward round and discussions, I have gained the knowledge of facilities needed, methods and outcome.

Wide informations on Nursing care, nurses training and warc management were received from Director of Nursing. And also from Medical Social Worker about integrated support and promoting self-learning for the patients. And by visiting to Hospital Dentistry, very kind hearted lady Dentists sheared me a lot of useful information for our cancer patients regarding the oral care.

My visit to Cancer Center, filled me with knowing of some different materials, methods and practice on giving chemotherapy infusions and patient care. And when I was reached to the Division of clinical Dietary, I was so impressed on the system, precautions and ways for preparing the meals for the patients.

A lot of academic knowledge were learnt from the Professors and Assistant Professors by attending Conferences(GI and Liver, Breast Cancer & Psychiatry), making discussions about GI surgery, Thoracic surgery, Endoscopy and Radiotherapy. I also witnessed the procedures at endoscopy Unit. I was sheared the very interesting data regarding on H.Pylori eradication and stomach cancer, Next Generation Sequencing of Genomic Medicine and advanced treatments like Endoscopic Mucosal Resection and Minimally Invasive Surgery by the respective field specialist.

After all, I am very grateful to all the person I have encountered during my stay in Japan, who helped me, support me, guided me, shared the knowledge to me. I will try to apply the knowledge I have gained to the care of our cancer patients and to integrate the system.



がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi 平成30年度がん看護インテンシブコースⅡ

がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開 AYA世代を支えるがん看護 一看護師ができること、伝えたいこと一

日 時:平成30年12月22日(土) 13:00~16:40
場 所:高知県立大学池キャンパス看護福祉棟2階 F206講義室
参加者:72名

総合司会(主催者):藤田 佐和
講演会司会:森本 悦子

平成29年度から新たにスタートしたがんプロⅢ期のがん高度実践看護師WGでは、全体テーマを「がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開」とし、5年間にわたり各大学ごとに、がん看護インテンシブコースⅡの講演会を企画していきます。

高知県立大学では、平成30年度は「AYA世代を支えるがん看護 一看護師ができること、伝えたいこと一」をテーマに、AYA世代にがんを体験された方2人と、AYA世代がん患者への看護支援を行っているがん看護専門看護師を講師にお迎えして、講演会を開催しました。

【講演】

「私のがん体験と医療者(看護師)に望むこと」

二人の体験者の語り

「AYA世代がん患者のいまと将来を支える看護」

津村 明美 先生 静岡県立静岡がんセンター がん看護専門看護師



主催者:藤田 佐和 先生



司会:森本 悦子 先生

【終了報告】

高知での開催でしたが、中・四国の岡山、広島、愛媛、香川、徳島の他、兵庫、神奈川からAYA世代がん患者への看護に関心の高い72名の方の参加がありました。専門職の看護師、保健師、助産師、看護教員だけでなく、大学院生や看護生を目指す学生にもご参加いただき、がん体験者の貴重なお話や、AYA世代がん患者を理解し支援していくための具体的な話を聞くことができた講演会となりました。

講演を通して、体験者の方ががんの診断から治療、治療後に抱えていた不安や悩みを知ることができました。そして、がんを体験されたからこそ、何気なく過ごしている毎日を生きる証と捉えて過ごされている語りから、がんを体験することの意味を考える機会をいただきました。また、AYA世代がん患者の特徴や教育、就労、妊孕性温存・性機能障害、意思決定への支援などについて、具体的に学ぶことができ、AYA世代がん患者を支援するためには治療後の人生も見据えた長期的な視点を持ち、多職種で支援していくことの重要性を改めて認識することができました。

参加者からは、「実際にがんを体験された方の貴重な話が聞けてよかった」「AYA世代がん患者への理解が深まった」「AYA世代がん患者を支援するために必要な視点が分かった」などのご意見をいただき、参加者のニーズに応える有意義な講演会となりました。

【全体のサマリー】 体験者の語り

最初にかんの診断を受けた時の気持ちについて、がんと説明されても別世界の話をされているように感じたこと、自分のこととして受け入れることができなかつたこと、病気について自分なりに調べるうちに怖くなっていったことなどを話されました。次に、治療中の入院生活での体験について、病院では同世代の患者さんが少ないため、話し相手となる人が非常に限られること、周囲の患者さんとの生活の時間が異なることや楽しみがない日常、行動範囲の制限、社会との隔離や孤立感を感じていたことを語られました。また、治療が終わってからも病気への不安や仕事、結婚、出産など自分の将来への不安や焦りを抱いていたことも話され、診断から治療、そして治療後の過程で様々なつらさやストレスを体験されていたことが分かりました。がんの治療の過程では、「なぜ自分だけが…」と落ち込む気持ちや焦りと同時に、「落ち着いて治療し体力回復に努めよう」、「前に歩き出さなければいけない」という気持ちが混同していたこと、そんな状況の中でも自分自身と向き合い、がんの治療をしていた時期を人生の夏休みと捉えたり、周りの人と比べるのではなく自分の命を自分らしく生きようと気持ちを切り替えるなどの体験談から、がんの体験を通して培われた強さを感じることができました。また、何気なく過ごしている毎日を生きる証と捉え、足元にある幸せを感じ取る心が大切という、命の大切さを自身で感じたからこそ言える言葉から、改めてがんを体験することの意味を考える機会をいただきました。

体験者の方々は不安やストレスの多いがん体験の中で、看護師の気遣いや励まし、たわいない会話、特別扱いはなくどんな時もいつもと変わらない笑顔と態度が嬉しかったと話されており、AYA世代という特徴を理解した上で看護師としてできる関わりが何かを考える示唆を得ることができました。

【全体のサマリー】

津村 明美 先生

最初に、AYA世代の特徴、AYA世代がん医療の特徴と課題、小児・AYA世代のがん対策について説明され、その上でAYA世代のがん患者に注目し、この世代に必要な医療ニーズを拾い上げることができるよう、静岡がんセンターにある『AYA世代病棟』について紹介していただきました。次に、AYA世代のがん患者の様々な課題と支援について、①自立性の支援、②多様な生き方の支援、③AYA世代がん患者の意思決定支援について講義いただきました。

自立性の支援では、『教育に関する支援』と『就労に関する支援』について説明されました。『教育に関する支援』について特に高校生のがん患者では、個々の患者や家族にとっての教育の意味やニーズを把握し、より早い段階から学校との連携を図りがん治療と学習が両立できるよう支援していることが述べられ、患者・家族の成長や将来の糧になるよう学習と治療への両立に取り組む必要性を理解することができました。

多様な生き方の支援では、『妊孕性温存・性機能障害に関する支援』、『子どもを抱えてのがん闘病の支援』、『仲間による支援』について説明されました。『妊孕性温存・性機能障害に関する支援』については、生殖医療の現状や妊孕性・生殖機能温存に際して男女差があること、がん治療施設と生殖医療施設の連携、妊孕性ワーキングにおける取り組みなどが述べられました。妊孕性温存に関しては、患者の関心が高まっている一方、病院組織としての経験がまだ十分に蓄積されていないことや、相談窓口が明らかにされていないこと、費用の問題など様々な課題があることが説明されました。妊孕性温存に関しては温存する・しないだけではなく、実際に子どもを持ち、育てていくところまで長期的な支援が必要となることを学ぶことができました。『子供を抱えてのがん闘病の支援』については、家族形成期の親がかがんに罹患することで家族の機能が低下したり、子どもや家族員の精神面にも影響を及ぼすことが述べられました。また、子どもを持つがん患者が抱える不安や困りごとについても述べられ、小児科家族支援チームが活動していることや、その中での看護師の役割について具体的に説明されました。『仲間による支援』では、AYA世代がん患者にとって、同年代の同様の体験をする仲間とのつながりはそれ自身がストレスへの対処となるため、仲間との親密性を育みながら自身の在り方を模索できるための支援として、AYA世代がん患者・がん体験者のピアサポートプログラムを立ち上げ、継続していることが紹介されました。

AYA世代がん患者の意思決定支援については、AYA世代がん患者は成長発達過程にあり、治療後の人生も長いと、今意思決定した結果を将来に引き受けることになることが述べられました。そのため、患者の認知的発達やこれまでの人生で育まれた意思決定能力を見極め、大人になっていく患者が自身の問題に対して意思決定していける力を段階的に身につけられるよう支援していく大切さを学ぶことができました。

講演を通して、看護師として成長発達過程にあるAYA世代がん患者を支援するためには、治療をしている今だけでなく、治療後の人生も見据えた長期的な視点を持ち、多職種で支援していくことの重要性を改めて認識することができました。



講師:津村 明美 先生

【参加者アンケート結果】

参加者72名のうち、66名から回答をいただきました(回答率92%)。アンケートの結果、参加者全員が「AYA世代を支えるがん看護 一看護師ができること、伝えたいこと一」について具体的に分かったと回答、98%の方が講演内容に満足したと回答いただきました。また、看護師が65%、教員11%、保健師4%、助産師1%の他、看護学生11%、大学院生8%と、医療従事者だけでなく、教員や看護学生など様々な方の参加があり、多様なニーズに応えることのできた講演会であったと考えられました。

また参加者は「がん看護に関する知識が増えた(28%)」「がん看護に対する視野が広がった(28%)」「がん看護に対する興味・関心が高まった(20%)」「今の仕事とがん看護を関連付けて考えるきっかけとなった(14%)」と回答しており、さらに90%以上の参加者がこの講演会が「がん看護の専門的な学習を深める意識を高める動機づけになった」「がん看護のキャリア・アップを目指す動機づけになった」と回答していることより、講演会の目的が達成できたと考えました。

今回の講演会で役に立つと思われた内容については、「体験者の語り」が非常に多く、「AYA世代の方のがん体験を初めて聞き心に響きました」「実際の体験談は、今後臨床で働く時に患者と接する上で非常に役に立つ良い話が聞けたと思います」などのご意見をいただき、がんを体験された方の思いや体験を直接聞く貴重な機会となったことがわかりました。他にも、「AYA世代がん患者の特徴に関するもの」「妊孕性温存・性機能障害への支援に関するもの」「子どもを持つAYA世代がん患者への支援に関するもの」「AYA世代がん患者の意思決定支援に関するもの」「ピアサポートに関するもの」「AYA世代がん患者への支援を行う上での看護師の役割に関するもの」などがありました。講演会終了後、「AYA世代がん患者への理解が深まった」「AYA世代がん患者を支援するために必要な視点が分かった」などのご意見を参加者からいただき、充実した講演会の内容であったと考えられました。今後も、高度な看護実践につながるような講演会の企画を考えていきたいと思えます。平成31年度は「働く世代の人々とがん看護に関連したテーマ」での講演会を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

文責 藤田 佐和



講演の様子

活動報告

岡山 第18回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月3日(火) 18:00～19:30
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術12A(治療計画2:患者データ、補正、セットアップ)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第19回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月5日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術12B(治療計画2:患者データ、補正、セットアップ)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

高知 第13回 がんプロ国際セミナー

テーマ:地域医療について
日 時:平成30年7月6日(金) 18:30～
場 所:高知大学医学部 低侵襲手術教育・トレーニングセンター(レジデントハウス1階)
参加者:13名
内 容:ハワイ大学医学部学生とがんプロ学生・医学部学生が、ハワイと高知の地域医療・在宅医療について英語でプレゼンテーションおよびディスカッションを行った。

岡山 第20回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月12日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術13(治療計画3:照射野、皮膚線量、分割)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

愛媛 第38回 愛媛大学腫瘍センター講演会(第2回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

テーマ:がんゲノム医療の現状と進展～がんゲノム連携病院として知っておきたいこと～
日 時:平成30年7月13日(金) 17:30～19:00
場 所:愛媛大学医学部附属病院 臨床第2講義室
参加者:42名
講演1:「がんゲノム医療の現状と進展 ークリニカルシークエンスの試みと課題ー」
国立がん研究センター中央病院 先端医療科長 呼吸器内科医長 研究実施管理部長 山本 昇 先生
講演2:「がんゲノム医療 ～国立がん研究センター中央病院 相談支援の実際～」
国立がん研究センター中央病院 相談支援センター がん専門相談員 諸井 夏子 先生

岡山 第21回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー(大学院公開講座)

日 時:平成30年7月14日(土) 13:00～18:20
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 保健学科棟3F 301室
参加者:6名
「放射線計測学1」「放射線計測学2」「放射線治療線量計算1」
東京女子医科大学大学院医学研究科医学物理学分野 西尾 禎治 先生

徳島 PHITS講習会

日 時:平成30年7月14日(土) 9:30～18:00
平成30年7月15日(日) 9:30～15:00
場 所:徳島大学蔵本キャンパス 医学部基礎B棟1階 基礎第一講義室
参加者:26名

7月14日(土)	7月15日(日)
■PHITSのインストール	■基礎実習3-2(物理モデルの設定)
■PHITSの概要説明	■総合実習(α線、β線、γ線、中性子線を止めるには?)
■基礎実習1-1(体系の作成方法)	■総合実習(陽子ビームで雪だるまを溶かそう!)
■基礎実習1-2(線源の設定方法)	■まとめと質疑応答
■基礎実習2(タリーの設定方法)	
■基礎実習3-1(輸送計算に関する設定)	

岡山 第22回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー(大学院公開講座)

日 時:平成30年7月15日(日) 9:00～15:20
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 保健学科棟3F 301室
参加者:6名
「放射線治療線量計算2」「陽子線治療1」「陽子線治療2」
東京女子医科大学大学院医学研究科医学物理学分野 西尾 禎治 先生

岡山 第23回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月17日(火) 18:00～19:30
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術14A(高エネルギー電子線治療)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第24回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月19日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術14B(高エネルギー電子線治療)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第25回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月20日(金) 18:00～19:30
場 所:津山中央病院がん陽子線治療センター 治療計画室
参加者:6名
「4次元放射線治療における最適マージンの考え方」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第26回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月24日(火) 18:00～19:30
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術15A(小線源治療)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第27回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年7月26日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名

「放射線治療品質管理基礎技術15B(小線源治療)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 臨床腫瘍・緩和地域医療学コース(インテンシブ)第3回地域医療セミナー

テーマ:徳島県医師会とのがん診療連携 ～患者さんの安心のために～

日 時:平成30年7月26日(木) 19:30～21:00

場 所:徳島県医師会ホール

参加者:71名

第1部:「がん遺伝子診断外来について」 徳島大学病院 がん診療連携センター 特任助教 藤野 泰輝

第2部:「がん診療連携に関する調査結果の報告
～食道がん・肺がん・乳がん・甲状腺がんについて」 徳島大学病院 胸部内分泌腫瘍外科 助教 鳥羽 博明
「がん相談支援の現状」 徳島大学病院 がん診療連携センター MSW 秋月 佐代
「事務手続きについて」 徳島大学病院 医事課 副課長 小林 保数

徳島 小児がん栄養セミナー

日 時:平成30年7月28日(土) 15:00～17:30

場 所:徳島大学蔵本キャンパス 基礎B棟2階 基礎第2講義室

参加者:105名

講演1:「小児がんの治療と栄養」 国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 熊本 忠史 先生

講演2:「小児がん患者の栄養管理」 広島大学病院 栄養管理部 長尾 晶子 先生

徳島 Cancer Meeting in Tokushima 2018 International Symposium

日 時:平成30年8月11日(土) 14:00～15:50

場 所:徳島大学病院西棟11階 日亜メディカルホール

参加者:40名

講演1:「Integrative Analyses of Environment, Microbiome, Genomics, and Immunity: New Opportunities in Cancer Science」
Shuji Ogino, Professor of Pathology, BWH, Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School

講演2:「Precision medicine and translational research based on cancer genomics」
Yataro Daigo, Department of Medical Oncology and Cancer Center, Shiga University of Medical Science

岡山 第28回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年8月20日(月) 18:00～19:30

場 所:津山中央病院がん陽子線治療センター 治療計画室

参加者:9名

「陽子線治療における不確かさとRobustness評価」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

高知 第9回 インテンシブコース(在宅がん医療・緩和医療)集中セミナー

テーマ:医療と介護の連携

日 時:平成30年9月2日(日) 13:00～15:30

場 所:高知会館3階 飛鳥の間

参加者:30名

■ワークショップ

■ミニレクチャー

「ケアマネの立場からみる医療と介護の連携」 高知県介護支援専門員連絡協議会 会長 廣内 一樹 氏

川崎 インテンシブ生涯教育コース 川崎医科大学附属病院がんセンター 第23回 Cancer Seminar 合同講演会

テーマ:がん治療の変革ー免疫療法ー

日 時:平成30年8月25日(土) 13:30～15:30

場 所:川崎医科大学 校舎棟7階 M-702講義室

参加者:58人

講演1:「チェックポイント阻害剤の有害事象」 川崎医科大学附属病院薬剤部 薬剤師 服部 真奈 先生

講演2:「免疫治療が肺癌治療の現場に与えた変革」 川崎医科大学 呼吸器外科学 准教授 川崎医科大学附属病院 呼吸器外科 副部長 清水 克彦 先生

特別講演:「がんは免疫で治すー免疫チェックポイント阻害剤、ネオアンチゲン、そしてその先へー」

山口大学医学部先端がん治療開発学 教授 碓 彰一 先生

愛媛 自己免疫疾患関連副作用(irAE)マネジメント勉強会 (第3回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

テーマ:筋炎・関節炎

日 時:平成30年9月6日(木) 18:00～19:00

場 所:愛媛大学医学部附属病院 臨床第2講義室

参加者:27名

「前回の勉強会の振り返り(炎症性腸疾患)」 愛媛大学医学部附属病院 腫瘍センター 朝井 洋晶 先生

「ICI治療中に発現した筋炎」 愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 西田 直哉 先生

「悪性腫瘍に関連するリウマチ疾患」 愛媛大学医学部附属病院 血液・免疫・感染症内科学 石崎 淳 先生

徳島 第22回 徳島放射線治療研究会

日 時:平成30年9月8日(土) 13:00～16:55

場 所:徳島大学蔵本キャンパス 藤井節郎記念医科学センター1階 藤井節郎記念ホール

参加者:59名

情報提供「QA商品紹介およびBeamScan」 ユーロメディテック株式会社

「QA商品紹介および3D Scanner」 東洋メディック株式会社

「QA商品紹介および3D 水ファントム」 千代田テクノル株式会社

講演1:「ビームデータ測定における注意点について」 大阪大学大学院 水野 裕一 先生

講演2:「Rapidcomについて」 ユーロメディテック株式会社

講演3:「コミッションング」 名古屋大学医学部附属病院 加茂前 健 先生

講演4:「リプリゼンタルビームデータを使用した装置の立ち上げについて」 京都第一赤十字病院 田中 義浩 先生

講演5:「ビームマッチングを利用した装置の立ち上げについて」 高知医療センター 横田 典和 先生

香川 第20回 緩和医療に関する集中セミナー in 香川

日 時:平成30年9月15日(土) 9:00～12:30

場 所:高松国際ホテル 讃岐の間(本館2階)

参加者:82名

「在宅緩和ケアを進めるための取組み」 国立病院機構 四国がんセンター 院長 谷水 正人

「がん診療と漢方の有望」 香川大学医学部附属病院 がんセンター 講師 西内 崇将

「がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン2017年版
～2011年版からの変更点を中心に読み解く～」 香川大学医学部附属病院 がんセンター 病院助教 村上 あきつ

岡山 第29回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年9月27日(木) 18:00～19:30

場 所:津山中央病院がん陽子線治療センター 治療計画室

参加者:8名

「体幹部定位照射における線量検証と線量評価」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

山口 看護師といっしょに考える 第8回 がん市民公開講座

テーマ: 気になるすい臓がんのお話

日時: 平成30年9月29日(土) 14:00～16:00

場所: 宇部市多世代ふれあいセンター2階 ふれあいホール

参加者: 約200名

特別講演: 「よくわかるすい臓がんの早期発見から内科的治療まで」
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍内科学 准教授 戒能 聖治 先生

「よくわかるすい臓がんの外科的治療」
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 診療助教 松井 洋人 先生

一般講演: 「がん患者に優しいまちづくりの取り組み」
宇部市健康増進課 保健師 武田 真奈美

「すい臓がんの化学療法について～看護師の立場から～」
山口大学医学部附属病院 がん化学療法看護認定看護師 阿部 久美

「すい臓がんの治療サポート～早期からの緩和ケア～」
山口大学医学部附属病院 がん性疼痛看護認定看護師 宮内 貴子

愛媛 愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター講演会 (第4回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

日時: 平成30年10月1日(月) 16:30～18:00

場所: 愛媛大学医学部40周年記念講堂

参加者: 96名

「なぜ間もなくお迎えが来る人に時間とエネルギーを注ぐのですか？」 横浜市 めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 先生

愛媛 臨床腫瘍学セミナー (第5回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

日時: 平成30年10月3日(水) 17:00～18:30

場所: 医学部本館2階 第2ゼミナール室

参加者: 15名

「Clinical Oncology -Hype or Hope-」 戸田中央総合病院 腫瘍内科 部長 相羽 恵介 先生

岡山 市民公開講座 (中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム がんゲノム医療実践講座 インテンシブ)

テーマ: 私のがんは遺伝ですか？ 家族のがんは遺伝ですか？ ～あるある市民公開講座 in おかやま～

日時: 平成30年10月8日(月・祝) 13:00～15:30

場所: 岡山コンベンションセンター3階 コンベンションホール

参加者: 214名

講演1: 「がんと遺伝の関係は？」 札幌医科大学医学部遺伝医学 櫻井 晃洋

講演2: 「もし乳がんが遺伝だったら考える自分の今とこれから～治療と妊娠について～」 岡山大学病院乳腺・内分泌外科 枝園 忠彦

講演3: 「遺伝性の卵巣がんと遺伝カウンセリング外来」 岡山大学病院臨床遺伝子診療科 平沢 晃

講演4: 「がんの遺伝カウンセリングとはどのようなものですか？」 川崎医療福祉大学医療福祉学部 山内 泰子

山口 第3回 がん治療スキルアップセミナー

日時: 平成30年10月9日(火) 17:30～18:30

場所: 山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階 多目的室1

参加者: 9名

「健康余命を考慮した高齢者口腔癌治療の方向性」
山口大学大学院医学系研究科 歯科口腔外科学講座 講師 原田 耕志 先生

山口 がん看護インテンシブコースⅡ がん高度実践看護師WG講演会 in Yamaguchi

日時: 平成30年10月16日(火) 17:30～19:00

場所: 山口大学医学部霜仁会館3階 多目的室

参加者: 14名

「働く世代の人々とがん看護」 なゆたの森病院 がん看護専門看護師 成清 優子 先生

松山 松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第3回公開講座

日時: 平成30年10月20日(土) 15:00～16:30

場所: 松山大学 樋又キャンパス2階 H2A講義室

参加者: 72名

「がん治療の進展とゲノム医療にむけて」 愛媛大学医学部臨床腫瘍学講座 薬師神 芳洋 先生

岡山 第30回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時: 平成30年10月25日(木) 16:30～18:00

場所: 岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム

参加者: 5名

「放射線治療品質管理基礎技術16(放射線防護)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第31回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時: 平成30年10月29日(月) 18:00～19:30

場所: 津山中央病院がん陽子線治療センター 治療計画室

参加者: 6名

「Simultaneous Integrated Boost (SIB)技術と線量評価」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

愛媛 第2回 愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター講演会 (第6回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

日時: 平成30年11月2日(金) 17:45～19:15

場所: 愛媛大学医学部 臨床第2講義室

参加者: 31名

「いのちと向き合う現場のあなたへー臨床でマインドフルネスを活かす！」 昭和大学医学教育学講座 講師 土屋 静馬 先生

愛媛 第39回 愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター講演会 (第7回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

日時: 平成30年11月7日(水) 17:30～19:00

場所: 愛媛大学医学部 臨床第2講義室

参加者: 41名

「粒子線治療の現状と将来」 山形大学医学部附属病院 病院長 根本 建二 先生

山口 第4回 がん治療スキルアップセミナー

日時: 平成30年11月7日(水) 17:30～19:30

場所: 山口大学医学部霜仁会館3階 多目的室

参加者: 23名

「疼痛緩和ケアの実際」 すえなが内科在宅診療所 院長 末永 和之 先生

岡山 第33回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年11月8日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究所 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:5名
「放射線治療品質管理基礎技術19(3次元原体照射)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇
「放射線治療品質管理基礎技術20(強度変調放射線治療)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

岡山 第34回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年11月12日(月) 18:00～19:30
場 所:津山中央病院がん陽子線治療センター治療計画室
参加者:6名
「4D pencil beam scanned proton treatment planningの線量評価」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

山口 第5回 がん治療スキルアップセミナー 第17回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会

日 時:平成30年11月14日(水) 17:30～18:30
場 所:山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階 多目的室1
参加者:29名
「治療拒否で退院したが、家族と薬剤師の支援により外来治療が継続できた咽頭がん事例」
山口大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 廣瀬 敬信 先生
山口大学医学部附属病院 看護部 帯山 美紅 先生
西日本薬局 管理薬剤師 大坪 泰昭 先生

岡山 第35回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年11月21日(水) 18:00～19:30
場 所:岡山大学大学院保健学研究所 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:7名
「医療におけるビッグデータの利活用」 国立研究開発法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 横濱 則也 先生

岡山 第36回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年11月29日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究所 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:6名
「放射線治療品質管理基礎技術21(定位照射)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇
「放射線治療品質管理基礎技術22(高線量率小線源治療)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 がん薬物療法専門医養成コースセミナー

日 時:平成30年12月5日(水) 19:00～20:00
場 所:徳島大学医学部臨床A棟7階 消化器内科学カンファレンス室
参加者:15名
「がん免疫におけるTregの役割」 札幌医科大学医学部 腫瘍内科学講座 助教 平川 昌宏 先生

岡山 第37回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年12月6日(木) 16:30～18:00
場 所:岡山大学大学院保健学研究所 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム
参加者:6名
「放射線治療品質管理基礎技術23(前立腺永久挿入療法)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇
「放射線治療品質管理基礎技術24(腔内照射)」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 PHITS講習会

日 時:平成30年12月8日(土) 9:30～17:30
平成30年12月9日(日) 9:00～15:00
場 所:徳島大学蔵本キャンパス 徳島大学病院 日垂ホールWhite
参加者:20名
12月8日(土)
■PHITSのインストール
■PHITSの概要説明
■基礎実習1-1(体系の作成方法)
■基礎実習1-2(線源の設定方法)
■基礎実習2(タリーの設定方法)
■演習問題(基礎実習1、2の宿題)
12月9日(日)
■基礎実習3-1(輸送計算に関する設定)
■基礎実習3-2(物理モデルの設定)
■総合実習(α 線、 β 線、 γ 線、中性子線を止めるには?)
■Para Viewを用いたタリー結果の3次元描画機能
■まとめと質疑応答

岡山 第10回 歯科・口腔外科インテンシブコース

日 時:平成30年12月9日(日) 9:00～15:25
場 所:岡山大学病院 総合診療棟西棟5階 第14・15カンファレンスルーム
参加者:69名
特別講演:「口腔癌進展例の手術療法」
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎口腔外科学分野 原田 浩之 先生
教育講演:「がんチーム医療の中での薬剤師の役割と医科歯科連携に向けた副作用マネジメント」
岡山大学病院 薬剤部 鍛冶園 誠 先生
『多職種連携がん支持療法シンポジウム～大学病院と病院歯科の取り組み～』
「がん患者の合併症～予防・治療に役立つ口腔アセスメント～」 広島大学病院 口腔総合診療科 西 裕美 先生
「がん患者のサルコペニア・フレイルが治療やQOLに与える影響」 広島大学病院 栄養管理部 長尾 晶子 先生
「地域包括ケアにおける歯科の役割～高齢がん患者への支援と連携に向けて～」 鳥取市立病院 歯科 目黒 道生 先生
「地域包括ケアにおける高齢がん患者へのリハビリ職と歯科との連携」 鳥取市立病院 リハビリテーション部 岩永 一彦 先生

岡山 第38回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成30年12月11日(火) 18:00～19:30
場 所:津山中央病院がん陽子線治療センター 治療計画室
参加者:7名
「IMRT/VMATにおける線量検証」 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

愛媛 自己免疫疾患関連副作用(irAE)マネジメント勉強会 (第8回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

テーマ:内分泌障害(甲状腺)
日 時:平成30年12月19日(水) 18:00～19:00
場 所:愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センター1F 講義室
参加者:45名
「前回の勉強会の振り返り(悪性腫瘍に関連するリウマチ疾患)」 愛媛大学医学部附属病院 腫瘍センター 朝井 洋晶 先生
「薬物性甲状腺異常の診療のポイント」 愛媛大学大学院医学系研究科 地域生活習慣病・内分泌学講座 教授 松浦 文三 先生

山口 第6回 がん治療スキルアップセミナー 第18回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会

日 時:平成30年12月27日(木) 17:30～18:30
場 所:山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階 多目的室1
参加者:26名
事例検討:「治療継続を希望していたが在宅緩和ケア導入により最期まで家で過ごせた尿管がん事例」
山口大学医学部附属病院 泌尿器科 松村 正文 先生、山口大学医学部附属病院 看護部 多賀谷 理子 先生
宇部協立病院 地域連携在宅医療科 立石 彰男 先生、宇部協立病院 地域連携在宅医療科 三隅 恵美 先生

参加大学

Consortium Member



広島大学
Hiroshima University

がん専門医養成コース
がん専門薬剤師養成コース
がん看護高度実践看護師養成コース
医学物理士養成コース
●離地区運営支援部学生支援グループ
TEL:082-257-1538



川崎医科大学
Kawasaki Medical School

がん専門医療人養成コース
●事務部教務課
TEL:086-464-1012



岡山大学
Okayama University

がん専門医養成コース
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当
TEL:086-235-7986
がん専門職(がん専門・指導薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師)養成コース
●医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当
TEL:086-251-7923
高度実践看護師(がん看護専門看護師)コース・医学物理コース
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当
TEL:086-235-7984



山口大学
Yamaguchi University

外科系腫瘍専門医コース
内科系腫瘍専門医コース
放射線腫瘍専門医コース
がん看護専門看護師養成コース
●医学部学務課大学院教務係がんプロ事務局
TEL:0836-22-2055



松山大学
Matsuyama University

がん専門薬剤師養成コース
●薬学部事務室
TEL:089-926-7193



愛媛大学
Ehime University

臨床腫瘍学教育課程がん専門医養成コース
●医学部学務課大学院チーム
TEL:089-960-5868



高知県立大学
University of Kochi

APNコース
●教務支援部教育研究戦略課
TEL:088-847-8815



高知大学
Kochi University

がん専門医養成コース
がん専門薬剤師コース
●医学部・病院事務部学生課大学院係
TEL:088-880-2799



香川大学
Kagawa University

がんプロフェッショナル養成コース
●医学部学務課大学院入学試験係
TEL:087-891-2075



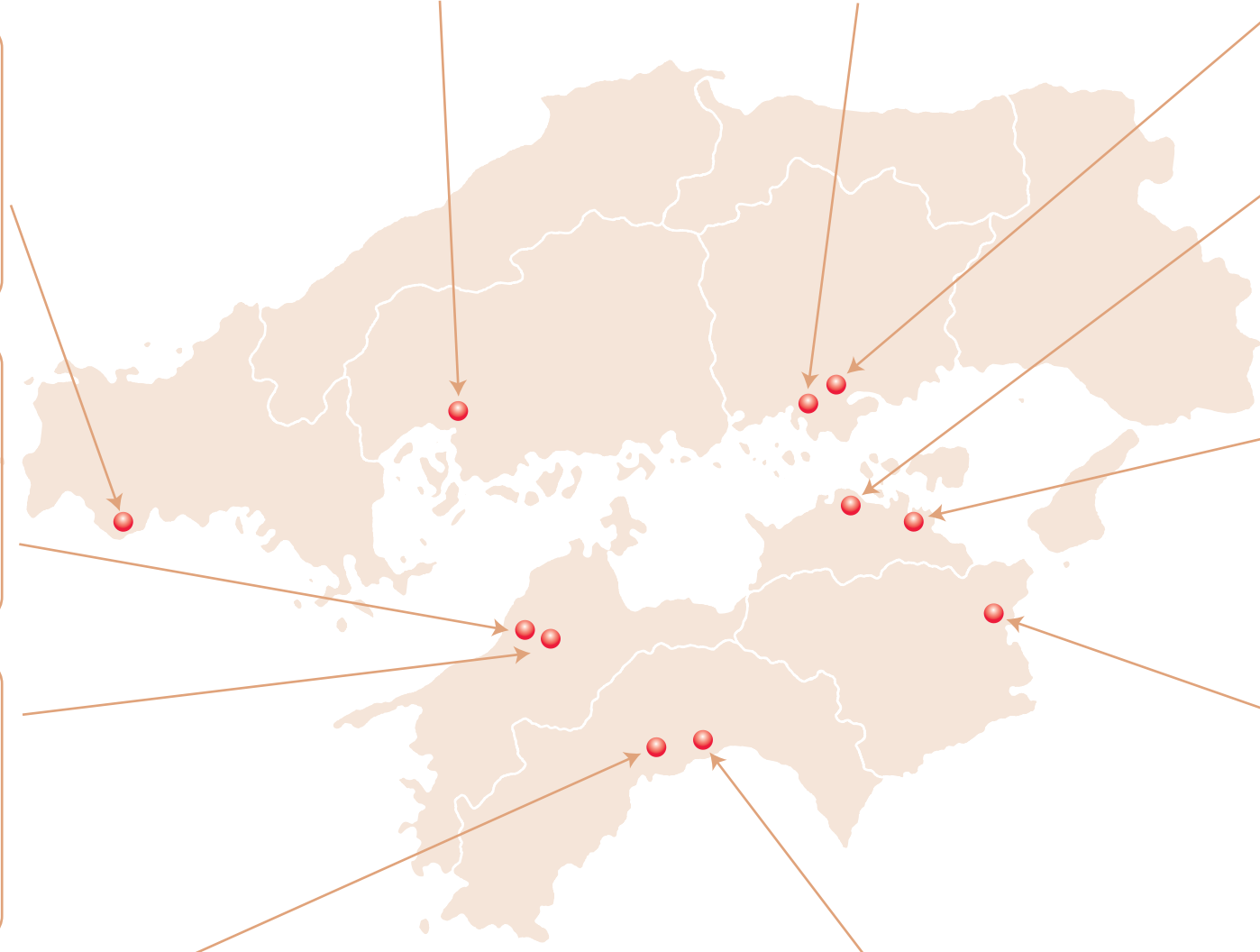
徳島文理大学
Tokushima Bunri University

臨床腫瘍薬剤師コース
●香川キャンパス教育・研究支援グループ(がんプロ担当)
TEL:087-899-7100



徳島大学
Tokushima University

がん薬物療法専門医養成コース・臨床腫瘍放射線医学コース
臨床腫瘍外科学コース
臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程・博士後期課程)
●蔵本事務部学務課第一教務係
TEL:088-633-9649
臨床腫瘍薬剤師コース
●蔵本事務部薬学部事務室学務係
TEL:088-633-7247
高度実践がん看護学コース・医学物理学コース
●蔵本事務部学務課第二教務係
TEL:088-633-9009



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.54

- 編集兼発行者
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局
TEL 086-235-7023
ganpro@adm.okayama-u.ac.jp
- 印刷所
有限会社 ファーストプラン